

製品名: CCNE1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81370**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	CCNE1
別名	CCNE
遺伝子 ID	898.0
SwissProt ID	P24864
免疫原	大腸菌で発現したヒト CCNE1 (AA: 307-410) の精製された組み換え断片。

背景

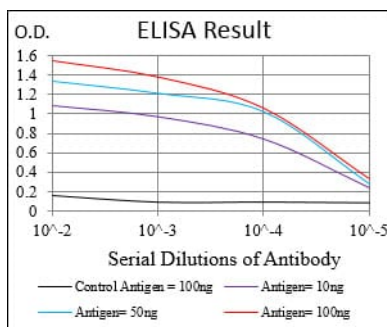
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通じてタンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられます。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能します。異なるサイ

クリンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与します。このサイクリンは、細胞周期の G1/S 期移行に必須の CDK2 と複合体を形成し、その調節サブユニットとして機能します。このタンパク質は G1-S 期境界に蓄積し、細胞が S 期を進むにつれて分解されます。この遺伝子の過剰発現は多くの腫瘍で観察されており、染色体不安定性を引き起こし、腫瘍形成に寄与する可能性があります。このタンパク質は、細胞周期制御性ヒストン遺伝子発現に関与し、pRB 非存在下での細胞周期進行の促進に重要な役割を果たす NPAT タンパク質 (ATM 遺伝子座にマッピングされた核タンパク質) のリン酸化と関連し、そのリン酸化に関与することが明らかになりました。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。さらに 2 つのスプライスバリエーションが報告されていますが、詳細なヌクレオチド配列情報はまだ入手できていません。

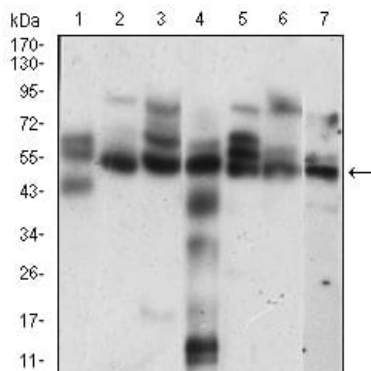
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

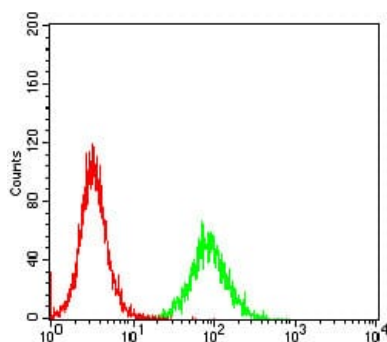
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



CCNE1 マウス mAb を用いた Hela (1)、K562 (2)、NIH/3T3 (3)、C6 (4)、MCF-7 (5)、Jurkat (6)、A431 (7) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



CCNE1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した K652 細胞のフローサイトメトリー分析。

